

船舶事故等調査報告書

平成22年2月25日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第236号	
事故等種類	転覆	
発生日時	平成21年9月19日 13時30分ごろ	
発生場所	三重県四日市港第一航路内 四日市港東防波堤南灯台から真方位149° 510m付近 (概位 北緯34°56.85′ 東経136°39.70′)	
事故等調査の経過	平成21年9月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	漁船 第22 ^{たいほう} 大宝丸、10.63トン	
船舶番号、船舶所有者等	ME2-4090（漁船登録番号）、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、一級小型船舶操縦士	
死傷者等	負傷 1人（船長）	
損傷	主機濡損	
事故等の経過	<p>本船は、船長及び乗組員1人が乗り組み、イベント関係者3人を乗せ、全員が救命胴衣を着用して、「第1回伊勢湾・三河湾浄化大作戦」と称するイベントに参加するため、操舵室の前に置かれたプラスチック製パレット板の上にEM液（有用微生物群）入りのポリエチレン製タンク2缶（1缶約1,000ℓ入り）を積んで、四日市市磯津漁港を出港した。</p> <p>EM液入りのポリエチレン製タンク2缶は、両舷に渡されたロープによって押さえられていた。</p> <p>本船は、四日市港内を北進して、同港の第一航路でEM液を放水するため、イベント関係者がEM液入りのポリエチレン製タンクを押さえていたロープを切断したとき、本船の右舷側を追い抜いた船舶の航走波を受け、EM液入りのポリエチレン製タンク2缶が左舷側に移動して船体が左舷側に傾き、平成21年9月19日13時30分ごろ、そのまま左舷側に転覆した。</p> <p>乗船者5人は、海上に投げ出され僚船に救助されたが、船長が海水を吸引し病院に搬送された。</p> <p>本船は、翌日クレーン船により引き起こされ、磯津漁港に係留された。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北西、風速 約2.8m/s</p> <p>海象：平穏</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>本船は、四日市港の第一航路を航行中、積載していたタンクの移動防止用のロープを外したため、右舷側を追い越した船舶の航走波を受けた際、甲板上に積んでいたタンク2缶が左舷側に移動したものと考えられる。</p>

		本船は、タンク 2 缶が左舷側に移動したため、船体が左舷側に傾いて転覆したものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、四日市港の第一航路を航行中、積載していたタンクの移動防止用のロープを外したため、他船の航走波を受けた際にタンクが左舷側に移動し、船体が傾いて転覆したことにより発生したものと考えられる。	